よりよい地域をめざして…地域情報紙 買い物や飲食は地元のお店を利用しましょう
シティライフ
地域で守ろう子どもの安全
2019.8.31 Vol.1108
外房長生夷隅版 配布地域／茂原市・長生郡・いすみ市・夷隅郡・勝浦市 【60,000部】
https://www.cl-shop.com
企画・制作／シティライフ編集室 〒290-0056 市原市五井4874-1 TEL.0436 (21) 9311 FAX.0436 (21) 9142
次回発行日▶9月7日(土) 中央①
シティライフが提供する動画をWEBで見れます！

左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画がご覧頂けます!

唯一無二の存在感 石粉粘土で咲かせる花

澤田節子さん

石粉粘土工房『花ごよみ』を主宰する澤田節子さん(67)は、茂原市緑が丘在住。自宅兼工房には石粉粘土で作った色とりどりの作品が飾られている。石粉粘土とは石の粉に接着剤が練り込んである粘土で、形を作り乾燥させた後アクリル絵の具で色付けをする。出来上がった作品は思いのほか軽く、優しい手触りで落としても壊れにくい。また、欠けてしまった部分も新たに粘土を足して着色すれば修復も容易にできる。澤田さんはこの素材に魅力を感じて、今まで多くの作品を作り出してきた。

作品のモチーフの多くは、花。制作はまず花器から取り掛かる。大ぶりの花瓶でも、木のツルを編み込んだ籠でも表現は自由自在。そして、その花器に活ける花や木の枝を1つ1つ作成していく。「頭の中にイメージが浮かんだら、忘れないうちに作り出します」と、澤田さん。下絵を描いたり、写真や実物を参考にすることはないという。「亡き父はタイル職人で、図面も書かずに頭の中に描いたものをそのまま形にできる人でした。その感覚を父からのプレゼントとして受け継いだと思っています。また泥遊びや木登りなど、毎日暗くなるまで自然の中で遊んでいた子ども時代が私の大きな下地になっています」と、語る。

澤田さんは市原市出身。市原市内の公立幼稚園で27年間幼稚園教諭として勤務し、園長も務めた。子どもが大好きで子育て支援にも注力していたが、椎間板ヘルニアと腸に持病を抱えて痛みに苦しみ、体調を崩してやむを得ず退職したのは47歳の時だった。

千葉市内のデパートで石粉粘土の作品展に偶然立ち寄ったのは、退職する少し前の事。石粉粘土の限りない可能性に心惹かれ、一気にその魅力の虜(とりこ)に。その後石粉粘土の基礎を学び、当時の市原市光風台の自宅で教室を開いた。「光風台小学校で子どもたちのために作品展を行ったことをきっかけに出会いの輪が広がり、様々な所で出張教室も行うようになりました」と、澤田さん。教室は軌道に乗り、常に満員状態だった。

東日本大震災が起こると、ニュースで伝えられる被災地の惨状に衝撃を受け教室が続けられないほど気持ちがふさぎ込んでしまう。宮城県では市原工芸会の会員だった知人が移住後間もなく被災。津波によって家財すべてを失ったと聞き、必要な画材一式を送るなど懸命に支援した。教室の仲間たちと東北復興の為のチャリティも行った。心を痛める日々の中でその時出来ることに1つ1つ励んでいくうち作品を作ることで新たに進んでいこうという気持ちが芽生え、出来上がったのが大地に根付く大きなひまわり、『大地』という作品。「完成には2年程かかりました。思い出深い渾身の一作です」と、振り返る。

時と場所は変わっても常に人の役に立ちたいという信念が澤田さんを貫いていて、周りには自然と人が集まる。笑顔を絶やさない澤田さんは、まさに置かれた場所で咲く花のようだ。「表現するにはエネルギーがいる」という澤田さんのエネルギーは、どこから来るのだろう。「痛みと闘いながら生きてきたということが大きいと思います。幼稚園教諭として最後まで全うできなかったという思いもぶつけています。粘土で表現したいという激しい気持ちに突き動かされてきました」と心の内を語った。

夢は令和の作品展

7年前、長男家族との同居を機に茂原市へ転居。現在は孫の成長を間近に見守りながら、制作活動を続ける時間を大切に過ごしている。『花ごよみ』のメンバーは、澤田さんの他に7名。公民館などでの石粉粘土教室では講師の澤田さんの右腕となって参加者を指導し、スタッフとして全面的にサポートする。澤田さんにとって信頼のおける仲間だ。工房へは月に2度昼食持参で集まり、共に午前と午後を制作に費やす。「作品を作っていると頭が空っぽになります。楽しくて他の事が考えられません」「工房に来るとずっと笑いながらおしゃべりをして、手も動かして、いいことばかりです」と、テーブルを囲む風景は明るい。

澤田さんは昨年11月、自宅にて作品展を開催。近所の人々や古い友人たちが訪れ大盛況だった。澤田さんの作品を買い求めたいという人は後を絶たないが、チャリティの出品作以外は販売を行っていない。自分の作品は、しっかりと顔の見える相手に持っていてほしいという気持ちからだ。「平成の終わりに作品展ができたので、令和でも作品展をすることが今の夢です」との澤田さんの言葉は、ファンには待ち遠しく響くことだろう。次に澤田さんと工房メンバーの作品に会えるのは、10月17日～20日に市原市市民会館で予定されている『市原工芸展』。19日には、澤田さんの実演コーナーもある。興味を持たれた方は、是非会場へ。(石井)

問澤田さん
☎0475・47・3880

上総国一ノ宮 玉前神社提供

読者投稿 お好きに川柳〈第186回〉

◆お題「メール」

一席

送信後「意味不明」と電話あり
　茂原市　中山理惠

●会話より　メールが多い夫婦間
　大網白里市　安延春彦

●顔の無い　メールへ潜む闇サイト
　茂原市　道譯賢一

●手紙なら　書けるがメールできぬ年
　大網白里市　三日市晧

●メールでは　素直に詫びが入れられる
　大網白里市　細矢収二

●eメール　流行り落ち込む年賀状
　勝浦市　岡元邦武

●息子から　元気ひと言プチメール
　大網白里市　渡辺光恵

ご祈寿
毎日9時〜16時の間
いつでもお受けしています
〈玉前神社〉
TEL.0475-42-2711

【賞品】
一席の方には、玉前神社様より2千円分の図書カードをプレゼント

【応募方法】
ハガキかFAX、メールで、〒番号、住所、氏名(希望の方はペンネームも)、年齢、電話番号を明記の上、〒290-0056 市原市五井4874-1 シティライフ「川柳」係。
9/10(火)〆切 ※一枚のハガキ、FAXに何句書いていただいても結構です。皆様の応募待っております。
fax.0436-21-9142　kiji@cl-shop.com

次回・お題は「天気」です

行広告

有料 1行2,400円（税別）お申込はお早めに
☎0436-21-9311　FAX0436-21-9142

申し込み方法

◆専用申込書をＦＡＸまたは郵送でお送りします。
◆申込書に所定の内容を記入後、ご返送ください。追って掲載料金等を記載した受注書を発行します。
◆掲載料は前払いなので、受注書を確認されたらお振込ください。掲載紙面は１部ご郵送します。

買います

●**きもの専門（今昔）**野口染工場 ☎0470-83-0136
●**ピアノ**　漆田 FD0120-00-4210
●**金プラチナ商品券**　相場・額面の90～98％で　てんとう虫　☎0475-72-9400 大網店　休み不定　0476-36-4388 富里店　043-310-5825 都賀店

生徒募集

●**着付教室**　毎㈰10時～11時・13時～14時　1回500円　浴衣から二重太鼓まで　詳しくはお問合せ下さい　きもの館まるへい　茂原店 ☎0475-25-2617 担当：小谷部　岬本店 ☎0470-87-2707担当：飯野
●**全日制フリースクール**　中学不登校生のための学びの場です　成美学園中等部 ☎0475-44-5777

●**小学生・初心者対象バレーボール教室**　毎㈰17:00～19:30　茂原市立中の島小　担当：いわかみ　☎090-1889-2205

求人

●**パート美容師募集**　週1日からＯＫ　ラセーヌ牛久店　☎0436-50-0822
●**スタッフ募集**　ランチスタッフ900円～　ディナースタッフ1,000円～　詳細はお気軽にお問合せください　フランス割烹・和牛ステーキ　茂原竹田屋　☎0475-27-2013　月曜休み

営業案内

●**ピアノのレンタル**　シツデン FD0120-00-4210

お知らせ

●**教育相談**　ニート・不登校・学力不足・ひきこもり　初回無料　要予約　成美学園　☎0475-44-5777
●**きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル「ソドー島のたからもの」**　9／16㈪　12時と14時半の２回公演　千葉県文化会館　全席指定：2,800円（2歳以上有料）　約1時間、楽しい歌と元気な踊り、映像も駆使したオリジナルストーリー　５年間で30万人以上を動員した大人気ミュージカル　☎043-222-0201
●**初秋・秋草を活ける**　9／1㈰～22㈰　11～17時　第１・２の㈬㈭と９／６休　ギャラリー竹の子（大原8640-2）　竹篭、鉄器、一輪挿し、陶花器　懐かしの「岩田専太郎」の木版画　☎0470-62-2246

らいふ通信

掲載無料　詳しくはお問い合わせ下さい
☎0436-21-9311　FAX0436-21-9142

申し込み方法

※個人情報や呼びかけなどにご利用ください。
※お申込み　内容を箇条書きにして、住所、氏名、電話番号を明記し、ＦＡＸか郵送、メールで
FAX0436-21-9142　メールkiji@cl-shop.com

ペット情報

●**子猫差し上げます**　7／21生　三毛メス・白ぶちメス・こげ茶トラメス・こげ茶トラオス　単身・ご高齢世帯不可　家族として大切にして下さる方希望　九十九里・オオノ　☎090-8054-9083

サークル

●**ダンディークッキング・男性料理教室**　第１㈰13時半～16時半　茂原市中央公民館　未経験でも大丈夫！気軽にワイワイやっています　体験受講募集中　対象：成人男性　初心者歓迎　参加費：１回1,000円　伊藤　☎0475-23-0326

イベント

●**押花絵画展**　8／31㈯～9／9㈪　9～17時、最終日15時　茂原市立美術館　3年に1度の絵画展　100点あまり展示　入場無料　押花コスモス会・吉田　☎090-7809-9893
●**ヴォーチ・ダンジェリ＆ヴォス・カテドラル　チャリティコンサート**　9／1㈰　14時開演　茂原市東部台文化会館　全席自由・1,000円　ペルゴレージ「スターバト・マーテルより」、高田三郎「女声合唱組曲・心の四季」、中島みゆき「糸」、松田聖子「瑠璃色の地球」ほか　チケットは文化会館　☎0475-23-8711　問合せ：眞鍋　☎0475-34-1421
●**カントリーマーケット32**　9／1㈰　10～15時半　長生村文化会館　手作り雑貨とフードブースが集合！ハンドメイド・ハンドクラフトに特化したマーケット　こだわりの1品を探しにご来場ください　小田　☎090-3047-1495
●**菅根成之回顧展**　9／4㈬～22㈰　10～18時　㈪㈫休　アートサロン・茶房けい（一宮町）　油彩、水彩、デッサン画　30点　販売可　☎0475-40-0862
●**茂原公園リンドウ咲く丘の草刈りボランティア**　9／7㈯　13～16時半　雨天順延　茂原公園（駐車場集合）　リンドウやタムラソウなどの野草が咲く斜面の草刈り　野草に配慮した草刈り鎌による作業　経験や安全を最優先して行う　対象：大人　参加費：100円　草刈り鎌（刃が小さなもの）または剪定鋏、飲み物、おやつ、虫よけ、軍手、長袖など作業に適した服装と靴持参　電話かFAXで要申込み　参加者全員の名前、年齢、住所、電話番号を連絡　茂原公園自然愛好会・望月　☎・Fax.0475-25-6280
●**ラポール・ほのか祭**　9／7㈯　10～13時　白子町古所（白子駐在所隣）　景品盛りだくさんビンゴゲーム（12時～）・豊洲直送干物や焼きそば、焼き鳥、たこ焼きほか多数　☎080-9435-6790
●**秋の生き活きフェア**　9／7㈯8㈰　10～20時、最終日19時　茂原ショッピングプラザ・アスモ　長生・夷隅地区の福祉施設の販売会　加工食品・パン・木工・手芸品・花苗など　主催：長生・夷隅地区福祉施設連絡協議会　みずほ学園　☎0470-76-4321
●**斉藤知子織物展・ときのあわい**　9／8㈰～29㈰　10～17時、最終日15時　ギャラリー801（睦沢町）　㈫㈬定休　入場無料　移る季節に合わせて糸を染め、織り上げた作品　ポーチ、バッグ、マフラー、ショール、ウエアなど約50点　会期中の日曜午後に作家在廊　☎0475-40-3035
●**ダンスパーティ**　9／9・23㈪　13～16時　1,000円　K&Dうちやま（茂原）　☎080-9342-8104
●**大画面でみる映画会「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」**　9／12㈭　10時と13時半の２回上映　茂原市東部台文化会館　入場無料・申込不要　世界の小麦を育てた日本人の物語　1960年代、世界の食糧危機が起こった時、インドやパキスタンの人々を飢えから救った小麦　その基は「NORIN TEN」（小麦農林10号）と呼ばれた、日本人が育種した小麦だった　大正から昭和にかけ稲と小麦の育種に生涯を捧げた稲塚権次郎（1897年～1988年）と、その妻イトとの愛の物語を描く感動のドラマ　☎0475-23-8711
●**特典付月例ダンスパーティ**　9／14㈯17時～　高貫ダンススクール（いすみ市岬町）　参加費：1,000円、軽飲食付、アマデモあり　サークルたんぽぽ会員募集中：基本重視のステップとトレーニング・月３回㈯・13～14時・月会費1,500円・初心・初級・中高年大歓迎　☎090-4208-1210
●**藻原寺フリーマーケット**　9／14・28㈯　9～13時　雨天中止　茂原市役所近く　車ごと出店：1,500円　８月から第２・４㈯に開催日変更　初めての方は開催日に下見の上、本部受付まで　☎090-4950-6193
●**千葉の新進作家vol.1 志村信裕 ー残照ー**　9／23㈪まで　9～16時半　㈪休館、㈷の場合は開館し翌日休館　千葉県立美術館　入場料：一般300円、大高150円、中学生以下と65歳以上無料　佐倉市在住の現代美術家　日用品や動物など親しみやすいものをモチーフに、「過去」を探る映像作品を制作　ドキュメンタリー手法を取り入れ、国や地域を超えた普遍的なモチーフを糸口にしたフィールドワークを行い、どこか現実離れした美しい世界を映しだす　今回は「羊」でフランス・バスク地方と千葉県成田市に取材した新作「Nostalgia, Amnesia」を展示　トークイベント等はＨＰにて　☎043-242-8311
●**第３回探訪会・加納さんの足跡を訪ねて**　9／28㈯　13時20分～16時　集合：ＪA長生一宮支所駐車場　徒歩で移動　東漸寺～城山公園～一宮小学校　最後の一宮藩藩主の加納久宜翁は、晩年に一宮町長として理想の町づくりに情熱を傾けました　没後100年の今年、ゆかりの史跡等を探訪　資料代：300円　要申込　9／25〆切　林　☎070-6406-1414
●**日本ミツバチ趣味の養蜂講習会**　9／28㈯：13～16時・養蜂の要素技術について動画とテキストで説明・巣枠飼育の情報交換可能・蜂蜜お土産付き　9／29㈰：８時半～10時半・自宅群採密実演、回収効率の良い採密法など・採れたて蜂密お土産付き、巣密味見ありともに斎藤宅（いすみ市岩船）、参加費2,000円　問合せ・申込：かなり　☎090-7219-4836
●**魂をみつめる画家・下川吉博展**　10／14㈪まで　9～16時半　田園の美術館（いすみ市郷土資料館）　㈪休館・㈷は開館し翌日休館　市原高校・大多喜高校など、埼玉県と千葉県の高校で美術教員を勤める　独立展など公募展への出品、個展開催も多数　油彩画　睦沢町在住　☎0470-86-3708
●**千葉県ウォークラリー大会茂原会場**　11／10㈰　９時半・茂原市緑丘小グラウンドをスタート　３コースあり　参加費：500円（保険料込）、３歳以下と80歳以上は無料　500名募集　要申込・所定の用紙にて9／15～10／15受付　茂原市レクリエーション協会・斎藤　☎090-1794-8318
●**猫部屋のお掃除ボランティアさん募集！**　いぬねこの森（長柄町）　１日１時間でも２時間でも空いてる時間　捨てられた猫が多く、譲渡が決まらない子を沢山保護　人手が足りませんので、猫好きな方で猫部屋の掃除・お世話の出来る、車で来られる方　☎080-5372-2348

リサイクル

●**差し上げます**　セミダブルのベッド、ニトリの白いマットレス２枚（横120×縦195×厚10㎝）　引取り可能な方　白子・石野　☎090-5441-1748

ぶどう狩りに行こう！

～手ぶらでOK、ぶどう棚の下でバーベキューも楽しめる～

9のぶどう園からなる『東金市松之郷ぶどう郷』

東金市松之郷ぶどう郷には、9軒のぶどう園があり、8月上旬頃から9月下旬にかけて、巨峰をメインにぶどう狩りが楽しめる。松之郷は盆地になっているので、昼夜の寒暖差があり、美味しいぶどう作りに適しているとか。

「松之郷の巨峰は、濃厚な味で風味が良いと言われます。50年ほど前から栽培してますが、自慢は味だけでなく、低農薬・有機栽培であること。皆さんに安心で安全なぶどうを食べてもらいたい」と、鈴木組合長。

巨峰以外にもバッファロー、藤稔（ふじみのり）など、ぶどう園によって幾つか栽培しているぶどうもある。更に、涼しげなぶどう棚の下でのバーベキュー（1人1500円前後）を楽しめるぶどう園もあるし、自家製の巨峰ワインや巨峰アイス、ジュース、ほか収穫したばかりの野菜等の販売をしているぶどう園もある。「旬の果物をたっぷりと！」是非この機会に。

期間中、ぶどう園のはしごをしたり、いろいろなぶどう園に出かけてみては。どのぶどう園も入園無料で、もいだ分だけ料金を支払えばいいシステム。目安として、たとえば巨峰だと1キロあたり1000～1400円（3～4房）。小さめのスチューベンは1キロ900円（5房）ぐらいとのこと。

鮮度抜群のもぎたてを「贈答用に」発送を頼む方も多いそう。帰省時の手土産にも喜ばれることウケアイ。ご家族で、お友達と誘い合わせて「今が旬！」の新鮮なぶどうを味わいに行ってみよう。

入園無料。9～18時。期間中無休。雨天でも開園。各園に無料駐車場あり。
㈲松之郷ぶどう組合
東金市観光協会
☎0475・50・1142

もみがらアートに挑戦！

茂原市夏休み体験環境学習

8月5日(月)、茂原市東郷福祉センターにて、茂原市環境保全課主催の『茂原市夏休み体験環境学習』が開催された。小学1年～4年生の17名が、食材地図の作成、もみがらアート、人力発電体験の3つを体験した。

1つ目の体験は、食材地図の作成。2つのグループに分かれた子どもたちのテーブルに、それぞれ大きな白い世界地図とスーパーのチラシが広げられた。講師は千葉県地球温暖化防止活動推進センターより委嘱を受け、茂原市・長生地域で活動する『ストップ地球温暖化・長生』会長の高久重剛（たかくしげたけ）さん。「私たちが食べているものがどこから来ているのか、チラシを使って調べます。例えば、お肉がオーストラリア産と書いてあったら、切り取って地図のオーストラリアの上に貼ってください」と、説明を始める。子どもたちはハサミやのりを手に作業に取りかかった。ノルウェー産のサーモン、セネガル産のタコ、チリ産のブドウなど。紙やビーチボール型の世界地図で懸命に探すが、聞いたことのある国名でもなかなか見つからない。スタッフから「オランダはさっき見つけたニュージーランドのちょうど反対側だよ」とヒントをもらう場面も。さすがに千葉産のナシなどの国産品が多く、日本列島はあっという間に埋もれてしまった。出来上がった地図を見た子どもたちからは、「あんなに遠いところから食べ物が来ているんだ」と驚きの声が上がった。

続く休憩時間、子どもたちは『パワー君』と名付けられた人力発電用の自転車に興味津々。「乗ってもいいですか」と、待ちきれずにサドルに乗る。急きょ、最後に予定されていた人力発電体験の時間となった。説明板には「あなたは100Wの電球を1分間ともせますか」との問いが。子ども用自転車には10Wと30W、大人用には26Wと120Wの2つの電球がそれぞれつけられており、両方の電球がつくようにみんな必死でペダルをこぐ。部屋のカーテンを閉めて電気を消すと、暗闇の中で電球がまぶしく光った。しかし、1分間こぎ続けることはなかなか難しい。子どもたちは電気をおこすことの大変さを知り、「いつも乗っている自転車の何倍もペダルが重かった」と息を切らせていた。

最後は、もみがらアート。書きたい絵の線に沿ってのりを塗り、上からもみがらを振りかけて絵を浮き上がらせる。もみがらは黄金色のものと、燻炭（くんたん）といってもみを炭にして黒くなったものの2色が用意され、子どもたちはキャラクターが描かれた紙を使ったり、好きな絵を描いたりして、配色をうまく考えながら作品を作り上げていった。米がみんなの食卓に上り、もみがらは肥料となり土にかえると説明を受けて、もみがらが米を覆っている殻だと初めて知った子どももいた。「身近なものから地球の事、環境の事を考えるきっかけをつかんで欲しい」と、サポートする大人たちは元気に動き回る子どもたちを見守っていた。盛りだくさんの2時間、子どもたちにとっては楽しい夏休みの1コマとなった。（石井）